

# 科目 漢字の歴史を知ろう

講師名 中上 秋翠

我々が日常には書くことの少ない篆書体や隸書体ですが、紙幣や新聞の題字、建物の表札や実印など、格式を感じさせるものには多く使われています。中国文明 5,000 年、漢字 3,000 年と言われる歴史の中で、一番長い歴史を持つ書体が篆書体、次が隸書体です。

今回の講座は、現存する最古の文字、甲骨文字から後漢時代の八分と言われる隸書まで、時代を追って変化してきた種々の文字を書いてみます。おおまか、紀元前のものですので、古代人が、絵や記号を書いている気分で筆順、形にはあまりとらわれずに、気楽に書いて楽しんでください。

書道用具は各自でご用意下さい。(筆、半紙、下敷き、墨汁)

【会場】 小岩くすのきカルチャーセンター

4~5月の日程(予定)

【曜日】 第2・4木曜日

4月	9日	23日
----	----	-----

【時間】 9:00~11:00

5月	14日	28日
----	-----	-----

【教材費】 12回 700円

【指導内容または作品名】

- プロローグ、甲骨文字（亀甲文字）
- 甲骨文字（獸骨文字）
- 金文（図象銘）
- 金文（大孟鼎）
- 大篆（石鼓文）
- 木簡（郭店楚簡）
- 小篆（泰山刻石）
- 小篆（権量銘）
- 古隸（魯孝王刻石・菜子侯刻石）
- 古隸（居延漢簡）
- 八分（西狭頌）
- 八分（曹全碑）